

なごや看護学会の発信力を高めて

2021年4月より理事長を拝命しております。2020年からのCOVID-19感染症がまん延する中、看護職の心身の負担は増してきています。そのために、看護の継続性を考えながら、体制整備と働き方改革を推進していくことが必要と考えています。

なごや看護学会は設立から4年目を迎え、現在の会員数は正会員173名、賛助会員1施設です。2021年度は第3期（2022年4月～2024年3月）の評議員および理事・幹事の選挙を開催し、評議員20名、理事10名、監査2名が、2021年度総会（ZoomによるWeb開催）で承認されました。

また、昨年度COVID-19の感染拡大により延期されました第3回なごや看護学会学術集会が、2021年9月4日（土）に佐原弘子学術集会会長（椋山女学園大学看護学部 教授）により、テーマ「教育と地域の連携～連携を支える情報共有～」としてWeb開催されました。会長講演、教育講演、一般演題6題の発表があり、入院から在宅における地域連携のための情報共有のあり方、高齢者看護、コロナ禍における看護教育・業務内容の見直しなど、看護職としての役割、働き方を考える機会となりました。参加者は会員・非会員あわせて61名でした。これからの学会はWeb開催、ハイブリッド開催という形で参加しやすくなるため、地域密着型の学会として発展できるように活動を進めてまいります。

そして、なごや看護学会誌が「メディカルオンライン」に登録されることになり、さらなる情報発信につなげていきたいと思っております。今後とも、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年2月吉日

村田 佐知子
なごや看護学会理事長
(名古屋市立大学病院看護部)

